

## 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月2日

上場会社名 株式会社ADEKA

上場取引所 東

コード番号 4401 URL <http://www.adeka.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 郡 昭夫

問合せ先責任者 (役職名) 法務・広報部長 (氏名) 影島 光

TEL 03-4455-2803

四半期報告書提出予定日 平成29年11月8日

配当支払開始予定日

平成29年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	114,712	5.3	10,205	3.3	10,542	18.9	7,262	19.3
29年3月期第2四半期	108,895	0.7	9,875	10.0	8,865	1.8	6,085	3.8

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 9,330百万円 (301.1%) 29年3月期第2四半期 2,326百万円 (63.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	70.61	
29年3月期第2四半期	58.95	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	298,835	195,275	62.6
29年3月期	290,485	187,956	62.0

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 187,087百万円 29年3月期 180,077百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		15.00		20.00	35.00
30年3月期		17.00			
30年3月期(予想)				18.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	240,000	7.4	21,100	0.3	22,500	3.0	15,400	0.5	149.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有



## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	103,651,442 株	29年3月期	103,651,442 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	721,098 株	29年3月期	820,217 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	102,847,767 株	29年3月期2Q	103,238,811 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2017年4月1日から同年9月30日）における世界経済は、先進国を中心に緩やかな回復基調で推移しましたが、欧米の政治・政策動向への懸念や北朝鮮情勢を巡る地政学リスクの高まりなどにより、依然として先行き不透明な状況が続きました。国内は、企業収益や雇用環境の着実な改善が続くなかで、個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループ事業の主要対象分野である自動車関連分野は、国内及び欧州市場での販売が堅調に推移しましたが、米国及び中国市場では勢いに欠ける状況が続きました。IT・デジタル家電分野は、スマートフォンなどモバイル端末の需要が底堅く推移したことに加え、液晶ディスプレイ関連では大型テレビ・車載用が成長を牽引し、安定した成長が続きました。製パン・製菓関連分野は、安定した国内需要に支えられ、堅調に推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、中期経営計画『STEP 3000-II』で掲げた「売上高3,000億円のグッドカンパニー」の実現に向けて、コア事業である樹脂添加剤、食品を中心に成長分野への投資を拡大しています。樹脂添加剤では、生産能力を増強した米国の高機能添加剤及びフランスのワンパック顆粒添加剤の設備が稼働しました。また、三重工場で生産するポリオレフィン樹脂向け高機能添加剤、タイで生産する塩ビ向け安定剤の設備増強に着手しました。食品では、シンガポールで加工食品の製造ラインを新設しました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は1,147億1,200万円（前年同期比5.3%増）、営業利益は102億5,000万円（同3.3%増）、経常利益は105億4,200万円（同18.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は72億6,200万円（同19.3%増）となりました。

報告セグメント別の概況は次の通りです。

#### (化学品事業)

当事業の売上高は、764億8,600万円（前年同期比4.5%増）、営業利益は93億8,000万円（同6.4%増）となりました。

#### ①情報・電子化学品

情報化学品は、ディスプレイ向けではレジスト樹脂及び光重合開始剤の販売が堅調に推移しましたが、光学フィルム向け光硬化樹脂は販売数量が伸長したものの、販売価格の下落により売上高が前年同期を下回りました。

電子材料は、旺盛なメモリ需要を背景に3D-NANDやDRAMに使用される半導体材料の販売が好調に推移しました。また、プリント基板やリードフレームのエッチング向けに回路材料が国内で堅調に推移しました。

情報・電子化学品全体では、前年同期に比べ増収増益となりました。

#### ②機能化学品

樹脂添加剤は、自動車などに使われる合成樹脂の生産が増加したことを背景に、核剤／透明化剤、光安定剤などの添加剤及び塩ビ向け可塑剤・安定剤の国内販売が前年同期を上回って推移しました。海外では酸化防止剤やポリオレフィン樹脂向け難燃剤の販売数量が伸長したほか、光安定剤の販売が堅調に推移しました。

界面化学品は、自動車エンジンオイル向けの潤滑油添加剤が、国内外で好調に推移しました。また、塗料・接着剤向けの反応性乳化剤が海外を中心に堅調に推移しました。

機能性樹脂は、電子機器の接着用途や自動車の構造接着剤向けに特殊エポキシ樹脂の販売数量が伸長しました。

機能化学品全体では、前年同期に比べ増収増益となりました。

## ③基礎化学品

プロピレングリコール類は、トイレタリー等の日用品用途の需要が堅調に推移しました。

過酸化水素は、液晶ディスプレイの電子回路用途などに同誘導品が拡大し、売上高が前年同期を上回りました。

基礎化学品全体では、原材料及び燃料価格上昇の影響を大きく受け、前年同期に比べ増収減益となりました。

## (食品事業)

当事業の売上高は、338億75百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益は6億88百万円（同26.3%減）となりました。

国内では、製パン、製菓、洋菓子向けを中心にマーガリン、ショートニング類、ホイップクリーム等の販売が好調に推移し、海外では、販売・開発体制の強化と現地ニーズにあった製品の開発などにより、中国、東南アジアでの販売が拡大しました。一方で、油脂や乳原料などの原材料価格高騰の影響を大きく受けました。

食品事業全体では、前年同期に比べ増収減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

総資産につきましては、前期末に比べ83億50百万円増加（前期比2.9%増）し、2,988億35百万円となりました。

主な要因は、売上債権と固定資産の増加です。

負債につきましては、前期末に比べ10億32百万円増加（前期比1.0%増）し、1,035億60百万円となりました。

純資産につきましては、前期末に比べ73億18百万円増加（前期比3.9%増）し、1,952億75百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績及び最近の業績動向を踏まえ、2017年5月11日に公表した通期の連結業績予想を下表の通り修正しています。

なお、2017年10月から2018年3月までの期間における為替レートは、「1 USドル=110円、1ユーロ=125円」と想定しています。

[2018年3月期の連結業績予想]

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	240,000	20,000	20,800	14,000	136.15
今回修正予想 (B)	240,000	21,100	22,500	15,400	149.62
増減額 (B-A)	0	1,100	1,700	1,400	—
増減率 (%)	0	5.5	8.2	10.0	—
(ご参考) 前期実績 (2017年3月期)	223,440	21,041	21,846	15,325	149.03

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	51,374	48,528
受取手形及び売掛金	50,250	53,619
有価証券	5,822	7,326
商品及び製品	20,244	21,617
仕掛品	4,707	4,712
原材料及び貯蔵品	16,251	16,613
その他	7,521	6,840
貸倒引当金	△270	△271
流動資産合計	155,901	158,987
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,354	23,671
機械装置及び運搬具（純額）	26,672	27,773
土地	21,184	21,191
その他（純額）	8,909	10,261
有形固定資産合計	80,121	82,898
無形固定資産		
のれん	89	57
その他	3,892	3,810
無形固定資産合計	3,982	3,867
投資その他の資産		
投資有価証券	42,060	43,964
その他	8,419	9,117
投資その他の資産合計	50,479	53,082
固定資産合計	134,583	139,848
資産合計	290,485	298,835

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,145	35,017
短期借入金	18,015	17,196
1年内償還予定の社債	8	4
未払法人税等	3,435	2,544
賞与引当金	2,239	2,267
その他の引当金	78	37
その他	10,923	15,755
流動負債合計	67,845	72,822
固定負債		
社債	300	300
長期借入金	11,467	7,104
退職給付に係る負債	15,910	16,231
その他の引当金	255	247
その他	6,749	6,854
固定負債合計	34,682	30,737
負債合計	102,528	103,560
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	22,899	22,944
資本剰余金	19,926	19,993
利益剰余金	124,520	129,663
自己株式	△590	△553
株主資本合計	166,755	172,048
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,919	10,623
土地再評価差額金	4,276	4,276
為替換算調整勘定	2,604	2,475
退職給付に係る調整累計額	△2,477	△2,335
その他の包括利益累計額合計	13,321	15,039
非支配株主持分	7,879	8,187
純資産合計	187,956	195,275
負債純資産合計	290,485	298,835

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)
売上高	108,895	114,712
売上原価	82,000	86,806
売上総利益	26,895	27,905
販売費及び一般管理費	17,019	17,700
営業利益	9,875	10,205
営業外収益		
受取利息	145	141
受取配当金	200	248
為替差益	—	80
その他	258	286
営業外収益合計	604	757
営業外費用		
支払利息	202	194
持分法による投資損失	169	74
為替差損	1,018	—
その他	225	151
営業外費用合計	1,615	420
経常利益	8,865	10,542
特別利益		
投資有価証券売却益	74	—
特別利益合計	74	—
特別損失		
有形固定資産除却損	81	128
関係会社出資金評価損	146	—
特別損失合計	228	128
税金等調整前四半期純利益	8,711	10,414
法人税、住民税及び事業税	2,230	2,757
法人税等調整額	△73	△58
法人税等合計	2,156	2,699
四半期純利益	6,554	7,715
非支配株主に帰属する四半期純利益	469	452
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,085	7,262



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
四半期純利益	6,554	7,715
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	517	1,122
為替換算調整勘定	△4,850	△218
退職給付に係る調整額	143	140
持分法適用会社に対する持分相当額	△38	571
その他の包括利益合計	△4,228	1,615
四半期包括利益	2,326	9,330
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,785	8,979
非支配株主に係る四半期包括利益	△459	351

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	8,711	10,414
減価償却費	4,509	4,628
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	222	521
有形固定資産除却損	81	128
関係会社出資金評価損	146	—
受取利息及び受取配当金	△345	△390
支払利息	202	194
為替差損益 (△は益)	853	△286
持分法による投資損益 (△は益)	169	74
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,985	△3,410
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△847	△1,739
仕入債務の増減額 (△は減少)	△300	1,833
その他	480	△1,833
小計	11,898	10,133
利息及び配当金の受取額	569	571
利息の支払額	△184	△197
法人税等の支払額	△2,987	△3,645
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,295	6,862
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の売却及び償還による収入	6,199	7,800
有価証券の取得による支出	△9,799	△9,300
有形固定資産の取得による支出	△4,814	△5,619
無形固定資産の取得による支出	△460	△393
投資有価証券の取得による支出	△22	△33
その他	357	328
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,539	△7,217
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△218	△541
長期借入れによる収入	2,115	1,474
長期借入金の返済による支出	△2,464	△1,323
配当金の支払額	△1,654	△2,066
その他	△375	△157
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,597	△2,613
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,630	57
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,471	△2,909
現金及び現金同等物の期首残高	49,981	50,762
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	89	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	45,599	47,852

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化学品事業	食品事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	73,202	31,660	104,862	4,033	108,895	—	108,895
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	80	9	90	6,033	6,123	△6,123	—
計	73,282	31,670	104,953	10,066	115,019	△6,123	108,895
セグメント利益	8,751	934	9,685	249	9,935	△59	9,875

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事及び工事管理、物流業、不動産業等を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△59百万円は、セグメント間取引消去額を含んでいます。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化学品事業	食品事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	76,486	33,875	110,362	4,349	114,712	—	114,712
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	68	12	81	6,807	6,888	△6,888	—
計	76,555	33,887	110,443	11,157	121,600	△6,888	114,712
セグメント利益	9,308	688	9,997	397	10,394	△189	10,205

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事及び工事管理、物流業、不動産業等を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△189百万円は、セグメント間取引消去額を含んでいます。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。